

公開実用 昭和 59—

129815

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—129815

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和59年(1984) 8 月31日

A 41 D 21/00

7149—3B

H 04 R 1/10

1 0 1

B 6507—5D

審査請求 未請求

(全 頁)

⑥ 耳環い

宝塚市逆瀬川 2 丁目10番61号

⑦ 出 願 人 小田原雅文

① 実 願 昭58—21431

宝塚市逆瀬川 2 丁目10番61号

② 出 願 昭58(1983) 2 月16日

⑧ 代 理 人 弁理士 糟谷安

③ 考 案 者 小田原雅文

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

耳覆い

### 2. 実用新案登録請求の範囲

ヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーの耳当部および／またはその近接部に、動物類の耳、鳥、蝶類の羽根、昆虫類の触角または童話の主人公もしくはその他所望の縫いぐるみ等における特徴的な耳に模した装飾を施してなる耳覆い。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は耳覆い、殊にヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーに特徴的な装飾を施してなる趣味的、意匠的に優れた耳覆いに関するものである。

最近若者間で、高性能再生専用カセットステレオ（例えばソニー㈱製「ウォークマン」または松下電気産業㈱製「ワールドウェイ」など）を携行

し、例えば通勤途上等の戸外で好みのミュージックを楽しむことが流行っている。もちろん、これらのステレオには専用のヘッドホーンが付いており、このヘッドホーンを通して好みの音楽を楽しむものである。

しかしながら、これら公知のヘッドホーンは専ら機能的面のみからデザインされており装飾的または趣味的感覚にはやゝ欠けているものである。

また、ヘッドホーン型の防寒用耳カバーもシーズン中子供達に愛用されているが、これもデザインの的には機能性のみが優先されており、主として子供達向のものであるにもかゝらず愛玩的要素は左程感じられない。

本考案はこのような状況に徴して提案されたものであり、ヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーに特徴的な装飾を施して意匠的、趣味的さらには愛玩的要素を付加した耳覆いに関するものである。

すなわち、本考案耳覆いはヘッドホーンまたはヘッドホーン型の防寒用耳カバーの耳当部および

／またはその近接部に、動物類の耳、鳥、蝶類の羽根、昆虫類の触角または童話の主人公もしくはその他所望の縫いぐるみ等における特徴的な耳に模した装飾を施したものである。

次に添付図面により本考案を具体的に詳説する。

第1図は本考案をハンディータイプのカセットステレオのヘッドホーンに具現した場合を示すものである。第1図に例示するように本考案耳覆いは、ヘッドホーンの耳当部、すなわち、左右のレシーバー部1 A、1 Bおよび／またはその近接部、すなわち、レシーバービーム2の適宜箇所動物類の耳（図面の例では哺乳動物—牛、豚、馬など）を模した装飾3 A、3 Bを施したものである。装飾3 A、3 Bはレシーバー部1 A、1 Bまたはレシーバービーム2に対して固定式でも、また着脱自在としてもよい。また、装飾3 A、3 Bはプラスチック、ゴム、布、皮革または化学繊維等任意の素材で作ることができる。なお、図中4はカセットステレオ本体を、また5はリード線をそれぞれ示すものである。

前記装飾 3 A、3 B は第 1 図～第 4 図に例示した哺乳動物の耳以外にも所望により鳥、蝶類の羽根、昆虫類の触角または童話の主人公もしくは種々の縫いぐるみ等の耳など任意の形状にアレンジすることができる。すなわち、第 5 図、第 6 図はネズミに模した場合を示し、また第 7 図、第 8 図は鳥の羽根を型取ったものである。

本考案耳覆いは以上のような構成を有し、これをヘッドホーンとして着装すると第 2 図～第 8 図に示すように一見自分が動物、鳥、昆虫または童話の主人公さらには縫いぐるみ等に変身したかのような気分となり、使用者に楽しい夢と希望を与えるなどその趣味的効果には甚だ大きなものがある。また、意匠的にも単なるヘッドホーンとしての機能性のみならず愛玩的要素も付与することとなり子供達、特に女の子には好奇の対象として迎えられものである。

以上主としてヘッドホーンの場合について説明したが、これをヘッドホーン型の防寒用耳カバーに適用しても同様の作用、効果が達せられること

はいうまでもない。

#### 4 図面の簡単な説明

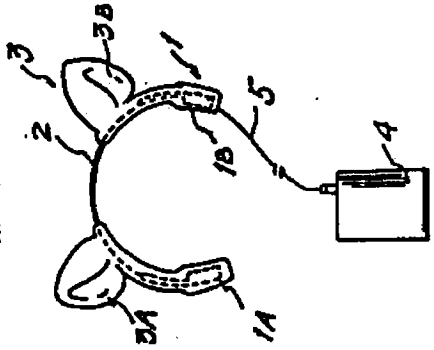
第1図は本考案の耳覆いをヘッドホーンに具体化した場合を示す正面図、第2図はその使用状態を示す正面図、第3図は同側面図、第4図は同背面図、第5図～第8図は本考案の他の実施例をその使用状態における正面図と側面図として示した図である。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 : レシーバー部 | 2 : レシーバービーム |
| 3 : 装飾     | 4 : カセットステレオ |
| 5 : リード線   |              |

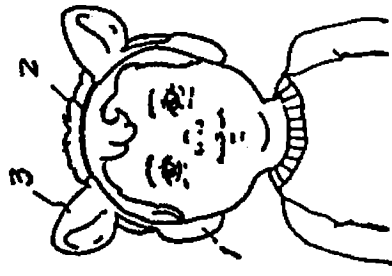
(出願人 小田原 雅文)

(代理人 弁理士 糟谷 安)

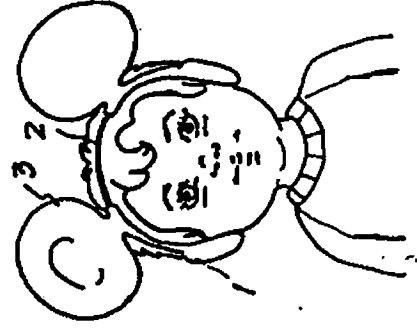
第1図



第2図



第5図



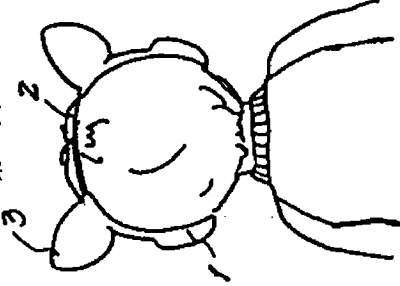
第6図



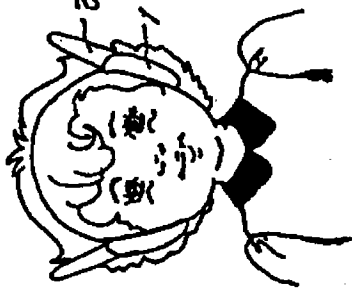
第3図



第4図



第7図



第8図

